

## 国語

第6回G模試の範囲は、長文が実力問題、漢字が漢字練習プリント42・49・56・64、知識が重要語句555の482～555、知識冊子「四字熟語・慣用句」となります。

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント42・49・56・64を少しずつ進めていくこと。漢字テスト64は次週にホームページにアップします。そちらを各自で解く形となります。	
② 語彙プリント 重要語句555 [519～555 (「やり込める」～「悪びれもしない」)のテストは漢字テスト64とあわせてアップします。各自で解く形となります。] →言葉を聞いて意味がだいたい想像できる、その言葉が入った文章が示された時に使われ方がふさわしいかふさわしくないかが分かる、というところまでは学習しておくことをおすすめします。	
③ 第49回 宿題その一 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう]	
④ 第49回 宿題その二 [( )の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう]	
⑤ 「家庭学習用教材(1月)」に取り組む(大問一つずつ、それぞれ30分前後を目安に取り組むこと。こちらについても、解答の根拠や問題の条件等に線を引いて解くとよいでしょう。また、間違えた問題を中心に解説を読んでおくこと。巻末の解答をていねいに切り取って保護者の手元に置いておき、解説を読ませる時だけ貸し出す形をおすすめします)。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第49回 授業で解いた演習の[記号選択]設問の復習 →授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。	
② 第49回 授業で解いた演習の[記述]設問の復習 →×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。	
③ 第49回 授業で解いた演習の[ぬき出し]設問の復習 →文章中のどの部分が解答であったのか再度確認しましょう。	

## 担当からの連絡

今回の文章は「読書の価値」がテーマとなった説明文でした。「アイデア」や「連想」といった内容や「わからないことがわかること」等が、筆者の考える読書の効果であることを読みながらおさえておきたいところでした。今回のように対比がとりこいと思われる文章もありますが、接続語や指示語、文末表現(～と思う)等をとっかかりにして読んでいくことで、各段落の言いたいことや要点等の把握をしていきましょう。また、指示語が多用されていた文章でもありました。設問として配したものもありますが、設問になっていなくても指示語の中身を確認することは、本文の内容理解を促すために大切なことです。このような読解の基本を大切に、自力で文章を読解していく土台を築いていってほしいと思います。

※第50回は対面では実施せず、動画を配信します。Zoomクラスに参加も可能です。

Zoomクラスの案内は「教材ダウンロード」(<https://labo-g.net/download>)内の学年別ページにて行います。

※第6回G模試以降に学習開始となる漢字冊子も本日配付しています。